

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

「ぼくたち わたしたちの町“津田”」

～ふるさと「津田」の環境を大切に守り続ける津田っ子～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

Description of the Project（プロジェクトの概説）

本校では、これまでも地域の施設や産業を中心として、地域に根ざした教育活動を実践してきた。そこで、さらに地域をみつめ・地域の文化を知り、地域に学び持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を推進していくために、「ぼくたち わたしたちの町“津田”」をテーマに、地域に密着した学習を系統的に行うとともに、持続可能な開発のための教育（E S D）を推進することを通して、環境を大切に守り続けることのできる「人間性豊かな津田っ子」の育成をめざしている。

E S Dを確実に推進するために、全職員で学習を深め、共通理解してE S Dカレンダー作成に取り組む。具体的には、これまでの教育課程を見直し、生活科・総合的な学習の時間を中心に、環境学習に関する活動、「環境にかかわる産業に触れる活動」、「地域の施設にかかわる人々に触れる活動」、と行事を関連付けた活動を取り入れたE S Dカレンダーを作成し、実践を行うことにした。

このE S Dカレンダーをもとに実践を継続していくことで、子どもたちが将来にわたって身近な地域のよさに気づき、自分たちの町を大切に守っていきたいという思いをもち、ふるさと津田への愛着を育んでいくことができると考えている。

Objectives of the Project（プロジェクトの目的）

本校ではE S Dの中心的な活動として、環境保全を中心に組み込んでいきたいと考えている。津田小学校は市街地に近い校区ではあるが、のどかで自然豊かな地域である。また、すぐ横に豊川が流れており、豊川の恵みで育ってきた産業も残されている。また旧東海道の町並みや有名な瓜郷遺跡は、子どもたちにとって身近な存在になっている。この自然豊かで文化も多く残されている自分たちの地域を、改めて見直し大切に残していこうとする意識を持たせたいと考え、以下の4つの活動を中心に行っていく。

（１）津田、さらには地球にやさしい活動

- ・「エコ活動」…牛乳パック回収リサイクル、節電・節水運動
- ・「緑のカーテン活動」…ツルレイシ、フウセンカズラの栽培活動
- ・「530活動」…委員会が中心となって全校で年間2回実施

自分たちが暮らす津田さらには地球の環境ことを考え、自分たちでできることの気づき、行動ができるようにする。さらには、学校から家庭、地域へと活動が広げられるようにする。

（２）津田の自然に関わる活動

- ・津田の四季、豊川・江川の季節の移り変わりの観察
- ・学校田での米作り、学校園（学習畑）でのさつまいも作り

津田の豊かな自然環境や自然からの恵み（作物）を知るとともに、自然に感謝する気持ちと、これからも豊かな自然を守っていこうとする気持ちを育てる。

(3) 津田の歴史・文化に関わる活動

- ・校区探検，校区の歴史学習（瓜郷遺跡，旧東海道，清須新田開発，いろいろな神社・寺など）
- ・津田に見られる特徴的な産業についての学習（みそ工場，魚市場，ちくわ工場など）
- ・地域の祭りへの参加

歴史的遺産や伝統文化，地域の発展に寄与した先人の苦勞を知り，より心豊かな地域社会の創造や地域とのつながりを尊重し，将来にわたって地域の一員として生活できるようにする。

(4) 学校行事と地域・環境を関連づけた活動

- ・津田の大運動会（校区と合同で実施），夏休み作品展，授業参観，一日学校公開，学芸会，親子ふれあいの日，あいさつ運動など

児童・保護者・教員・地域住民が一体となって成果を発表する機会をもつことで，身近な環境に目を向け，地域の誇りや地域への愛着心を育み，人と関わり，つながりを深める。

Execution（プロジェクトの実施）

本校では，前述の目的のとおり ESD への取り組みは環境保全を軸とした活動を展開していく。環境について考える学習を進めていくことで，町の発展と環境との関連性，人のつながりや社会の一員としての価値観を見出し，共有する基礎的な能力を養うことができると考える。また，それは持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育に他ならないととらえている。

津田校区は，豊川と豊川放水路の間にあり，三河湾の豊川河口まで数キロの場所に位置している。豊川を運搬路として発展し，今でも伝統的な製法で味噌作りに取り組んでいる会社も残っている。豊橋市の魚市場も校区内にあり，海苔の販売店も多くあり，海にかかわる業者が多くみられる。また，校区全体には田畑が広がり，大葉の栽培をはじめ食用花など新しい農業に取り組む農家も増えている。このように海や川などの自然の恵みをうけて，津田校区の生活が成り立っている。こうした環境の中で，子どもたちが自分の住んでいる津田校区を知り，津田を愛することができるようになれば，社会を理解し，強調してともに生きようとする子どもたちが育つと考えた。

そのために，環境に関する活動と行事等を関連づけた活動で，それぞれの目標を達成するために，各学年で活動を進めるための ESD カレンダーを作成して実践を進める。

- ・各学年と地域の環境保全とのかかわり

1 年生：つだの「はる，なつ，あき，ふゆ」

2 年生：つだのきせつと生き物，レッツゴーまちたんけん

3 年生：わたしたちのまち みんなのまち

4 年生：われら，豊川探検隊！「江川，豊川などの身近な川の水質検査活動」

緑のカーテン栽培活動

5 年生：おいしいお米をつくろう

6 年生：ふるさと防災対策課

- ・委員会と環境保全に関する活動

環境委員会主催：全校児童による 5 3 0（ごみゼロ）活動

牛乳パック回収活動

節電節水推進活動（太陽光パネル調査なども）

校内緑化推進活動

活動を進めるためのE S Dカレンダー（平成 24 年度 4 年生の例）

教科領域	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
社会	すみよい暮らし 「水はどこから」水質検査											
理科	ツルレイシ栽培 (緑のカーテン) 植物を調べよう 水のゆくえ ← 生き物を調べよう (年間) →											
総合	われら豊川探検隊！ 田植えをしよう 稲刈りをしよう 収穫に感謝しよう											
行事	家族ふれあい学級 学芸会 もちつき会 わくわく体験活動											

(1) 津田，さらには地球にやさしい活動

自分たちの身近な環境を守る(地球にやさしい)活動を自分たちで考え，行動に移すことで一人一人の地球環境に対する意識の向上をはかる。



牛乳パックの回収

環境を守るために自分たちでもできることを意識する。



緑のカーテン活動…ツルレイシの栽培

夏場に少しでも涼しく過ごせる方法を実感する。



「530活動」

環境委員会が中心となって全校で年間2回実施
身近な場所を自分たちの手できれいにすることの大切さを実感する。

(2) 津田の自然に関わる活動

○低学年の「さつまいもづくり」、5年生を中心とした「米作り」

津田校区の畑を借りての「さつまいも」の栽培、収穫、やきいも会。稲作を専門に行っている方の支援を得て、田植から稲刈りまでを子どもたち自身の手によって行っている。米作りでは、実際に田んぼの中に入って作業をすることで自然のありがたさや大切さを実感することができる。

収穫したさつまいもやお米で、やきいも会やもちつき会を地域の方々を迎えて、いっしょになって収穫の喜びや作物・自然の恵みへの感謝の気持ちを味わうことができる。



いものつるさし



さつまいもの収穫



やきいも集会



田植え



稲刈り



もちつき会

(3) 津田の歴史・文化に関わる活動

校区に残る歴史遺産や施設、昔からの工場などを見学したり、調べたりすることで、地域に残されて続けられている人々の生活の知恵や工夫を感じ取り、これからも自分たちができることを考え、守っていこうとする気持ちや意欲を高めることができる。



味噌工場見学（2年生）



魚市場見学（3年生）

(4) 学校行事と地域を関連づけた活動

身近な自然環境について行ってきた自分たちの活動の成果を保護者、地域住民に発表する機会をもつことで、地域の誇りや地域への愛着心を育み、人との関わり、つながりを深める。

一日学校公開日



校区と合同で実施する「津田の大運動会」



Type of materials to be used (使用する教材)

- ・「小学校キャリア教育の手引き」 文部科学省 平成 23 年 5 月 (WEB 版)
- ・「かがやくとよはし」 平成 23 年 4 月 1 日発行 編集：豊橋市社会科副読本研修委員会
発行：豊橋市教育委員会 印刷：株式会社アプライズ
- ・キャリア教育推進の手引き「小中学校 9 年間を見通したキャリア教育」
愛知県教育委員会義務教育課 (WEB 版)
- ・「キャリア教育ノート」夢を見つけ夢をかなえる航海ノート
愛知県教育委員会 (WEB 版)

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

児童の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・児童の様々な活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想、発表から把握する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業参観や作品展示会、行事等での成果の発表、意欲や態度を観察し、評価する。

上記の評価とともにさらに下記のことを実施して、ESD 活動のさらなる充実を図る。

- ・行事後の「アンケート」や 7 月・12 月の「学校教育に関するアンケート」により、「環境学習の有効性」「環境問題に対する意識の変化」などの項目について尋ねるアンケートを保護者、児童、教職員を対象に実施する。また、その結果を学校評議員に伝え、アドバイスをいただく機会を年に 2 回設ける。
- ・児童の実態や地域の特色に沿ったカリキュラムになるように、今年度の実践をもとに ESD カレンダーを見直し、環境学習に関する具体的な活動内容の改善を図る。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職)

Institution's name (学校名)